

町民1人あたり 前年度比較

¥371,483 ↑¥15,787

※令和7年3月末の総人口 40,657人で算出

## 社会福祉

老人・心身障がい者  
30億 9,341万円

1人あたり ¥76,086



## 児童福祉

保育園・母子・乳幼児  
29億 4,864万円

1人あたり ¥72,525



## 保健衛生

健康診査・各種検診・施設  
5億 4,673万円

1人あたり ¥13,447



## 清掃

ごみ・屎尿・不燃物処理  
8億 1,388万円

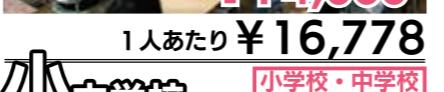
1人あたり ¥20,018



## 消防

消防・救急・救助  
6億 6,687万円

1人あたり ¥16,402



## 小・中学校

小学校・中学校  
6億 8,213万円

1人あたり ¥16,778

## 財政の健全化判断比率

菰野町	早期健全化基準	財政	
		実質赤字比率	再生基準
実質赤字比率	—	13.32%	20.00%
連結実質赤字比率	—	18.32%	30.00%
実質公債費比率	4.3%	25.00%	35.00%
将来負担比率	—	350.00%	—

▶菰野町は実質赤字比率と連結実質赤字比率は黒字のため「該当なし(ー)」となり、将来負担比率も基金残高や地方交付税算入額が将来負担より大きいため「該当なし(ー)」となります。

▶早期健全化基準のうち実質赤字比率と連結実質赤字比率は地方公共団体の標準財政規模に応じて異なります。

**【用語の説明】**  
▶標準財政規模は、町税など一般会計の標準的な年間収入です。

▶実質赤字比率は、一般会計および土地取得特別会計の赤字額が、標準財政規模に占める割合です。

▶連結実質赤字比率は、地方公共団体における全ての会計の合計赤字額が、標準財政規模に占める割合です。

▶実質公債費比率は、一般会計の公債費および一般会計が負担する公債費の合計額が、標準財政規模に占める割合です。

▶将来負担比率は、一般会計の負債および一般会計が負担することになる負債の合計額が、標準財政規模に占める割合です。

▶早期健全化基準は、自主的な財政健全化が必要な段階で、これを超えると財政健全化計画の策定等が求められます。財政再生基準は国などの関与による確実な再生が必要な段階で、これを超えると厳しい財政再生を求められます。

## DATA

## 菰野町庁舎

KOYONO TOWN HALL

令和6年度

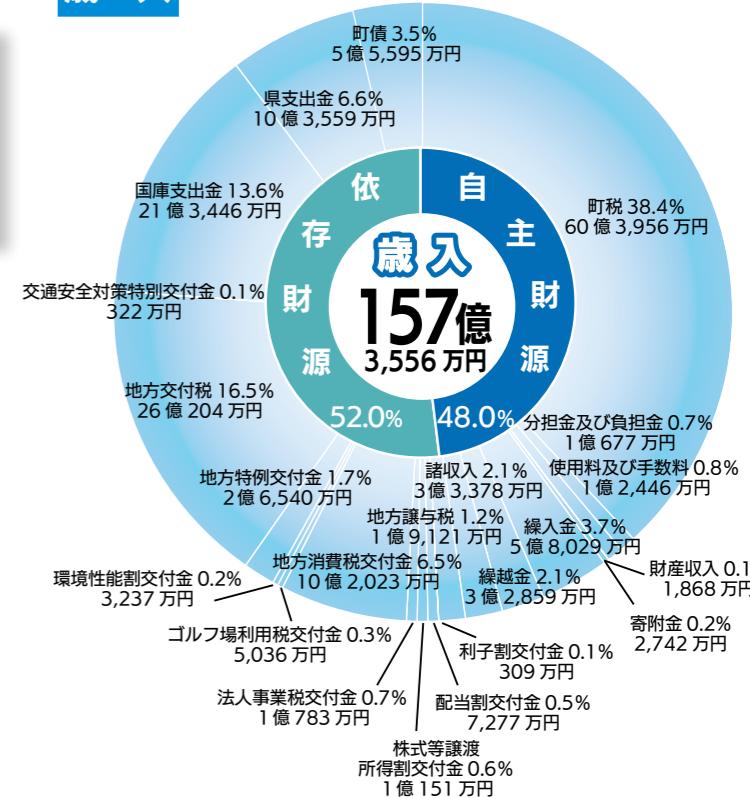
## 決算報告

菰野町の令和6年度決算報告が町議会で認定されました。

## 歳入のPOINT

- ・歳入全体は前年度と比べ 3.7%減
- ・普通交付税は 23.9%増
- ・国庫支出金は 7.1%増、県支出金は 32.0%減

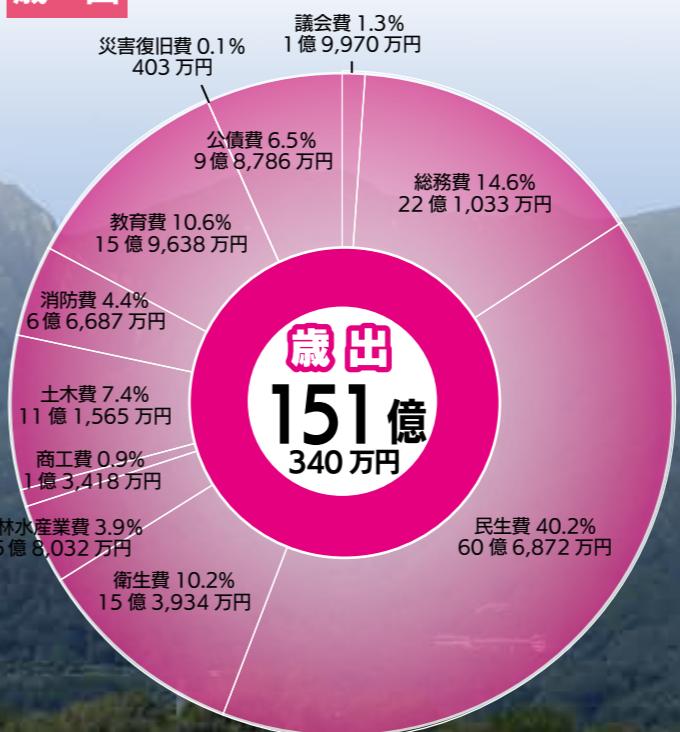
## 歳入



## 歳出のPOINT

- ・歳出全体は前年度と比べ 3.7%増
- ・民生費は定額減税調整給付金給付事業等で 7.2%増
- ・農林水産業費は畜産施設等整備事業等で 46.5%減

## 歳出



民生費は、住民税非課税世帯特別給付金追加給付事業で減少しましたが、定額減税調整給付事業や児童手当費が増加したことで 7.2%の増となりました。衛生費は、水道事業へのライフライン機能強化事業出資金（繰越分含む）で増加しましたが、物価高騰対策水道料金負担軽減支援補助金、コロナワクチン体制確保補助金返還金が減少したこと 2.4%の減となりました。農林水産業費は、下水道事業会計補助金、県営ため池整備事業で増加しましたが、畜産施設等整備事業が減少したこと 46.5%の減となりました。土木費は、町単道路改良工事で減少ましたが、道路メンテナンス事業（繰越分含む）、町内一円除雪委託で増加したこと 10.1%の増となりました。